

仕様書

1. 事業名：中堅企業等に関する先進事例の調査及びさいたま市内企業へのニーズ調査

2. 事業の概要

財団の支援事業において、中堅企業および今後中堅企業への成長が期待できる企業(以下、「中堅企業等」という。)に対する効果的な支援モデルの構築を目的として、国や自治体を実施している先進的な事例や、さいたま市内の今後成長が期待できる中堅企業等に対して、以下の調査を行う。

3. 調査内容

(1) 先進事例調査

中堅企業等に対する国や自治体の支援策について、先進事例を調査する。

【調査方法】

- ① ホームページや文献調査により、全国の先進事例を抽出する(数値目標は設けない)。
- ② 抽出した先進事例の中から最低1つを選択し、ヒアリング等の現地調査を実施する。

(2) 中堅企業等へのニーズ調査

【調査方法】

- ① 財団が提供する企業データ*をもとに調査対象先50社程度選定する。なお、選定にあたっては提供する企業データをもとに、売上や売上成長率などを参考にして、今後、中堅企業として成長が期待できる先を選定すること。

***財団が提供する企業データの対象先は「さいたま市内に所在する従業員数が100人以上2,000人未満の企業」である。**

- ② 上記①において選定した50社程度について、「中堅企業」、「ネクスト中堅企業*」、「中小企業」に分類し、体系的に整理する。

***「ネクスト中堅企業」とは、例えば、「従業員数と資本金のどちらかが中小企業の要件に合致するも、もう一方は同要件から外れている先」や「3期連続で増収増益しているなど業容拡大が著しい先」など、今後更なる成長が期待できる企業をいう。**

- ③ 上記②において分類した「中堅企業」「ネクスト中堅企業」から業種に偏りがないように10社程度を選定し、ヒアリング依頼を行う。ヒアリングにあたっては下記

項目を中心としたニーズについて企業担当者へヒアリングを実施する。

【主なヒアリング項目】

- ・産学連携、産産連携による新技術開発について
- ・海外展開の推進について
- ・AI活用による製品やサービスの高付加価値化について
- ・GXの技術開発について
- ・M&Aによる事業拡大や成長戦略について

【ヒアリング調査の手順】

①ヒアリングシートの作成

財団と受託者が協議して、上記ヒアリング項目をベースとしたシートを事前に作成する。

②ヒアリング調査の実施

- ・ヒアリングは経営者、または企業担当者に行う。ヒアリングにあたっては、上記3.(1)先進事例調査の結果や、中堅企業等施策をまとめた資料も活用する。なお、財団は受託者の求めに応じて、現行のさいたま市施策等の情報や資料提供について、協力する。
- ・企業へのヒアリングにかかるアポイントについて、受託者は必要に応じて、財団や市の担当者へのアポイント調整について、協力を求めることが出来る。
- ・ヒアリング調査は面談、もしくはオンライン面談とする。また、調査時、必要に応じて、財団や市の担当者が同席するものとする。

4. 履行期間

2024年11月1日～2025年2月28日

5. 履行場所

さいたま市内外

6. 成果物

調査報告書

- ①上記3の調査内容に基づき「先進事例調査」と「中堅企業等へのニーズ調査」の2部構成とする。
- ②報告書の体裁については、ヒアリング内容の記録（議事録）ではなく、要点をまとめ、表形式による一覧表にするなど、読みやすい体裁の調査報告書を作成する。

③印刷は行わず、電子データのみ提供で可

以上